

鹿島台の自慢!

互市

明治43年(1910年)、わらじ村長こと鎌田三之助が村民の福利を図ろうと始めた「鹿島台互市」。100年以上続き、春と秋の年2回開催されている市は、今では植木や農産物など250を越える露店が並ぶ東北最大の互市として広く知られている。

鹿島台



▲鹿島台互市

[鹿島台互市] (春)

■開催日／平成26年4月10日(木)～12日(土)
■時間／9:00～17:00(12日は16:30まで)
■会場／鹿島台昭和通り(JR鹿島台駅～大崎市鹿島台総合支所)
■問合せ先／0229-56-5520(鹿島台互市運営委員会)

[鹿島台互市] (秋)

■開催日／平成25年11月10日(日)～12日(火)
■時間／9:00～16:30(12日は16:00まで)
■会場／鹿島台昭和通り(JR鹿島台駅～大崎市鹿島台総合支所)
■問合せ先／0229-56-5520(鹿島台互市運営委員会)

■ひまわりの丘 (ひまわりのおか)

春と夏のおでかけにはココもおすすめ!

春(4月下旬～5月上旬)には200万本の菜の花が、夏(8月上旬～中旬)には42万本のひまわりが丘一面に咲き誇る。

■道の駅・三本木 やまなみ

(みちのえきさんぽんぎ やまなみ)

ひまわりのお菓子&お土産が勢揃い

生産者の顔が見える新鮮な朝採り野菜や生花、地場産品が所狭しと並ぶ。なかでも地元三本木の特産品・ひまわりを使ったクッキーやソフトクリーム等、スイーツは充実のラインナップ。



MAP P27

香ばしく焼き上げた「ひまわりワッフル」(120円)が一番人気。軽食コーナーで販売している「ひまわりソフト」(250円)もおすすめです。

スタッフ 石川 妙子さん



■住所／大崎市三本木大字大豆坂63-13
(亜炭記念館は大崎市三本木大字大豆坂63-24)
■電話／0229-53-1333(亜炭記念館は0229-52-6232)
■営業時間／物産館9:00～18:00、亜炭記念館9:00～17:00
■休／無休 ■記念館入館料／無料
■HP／<http://www.sanbonji.jp>

隣には三本木亜炭の最盛期を今に伝える『三本木亜炭記念館』も!



炭鉱の歴史を忘れないための資料館。日本一大きい亜炭柱が置かれています。亜炭運搬用に使われたオート三輪は、子供にも人気なんです。

大崎市三本木振興公社 鈴木 輝さん



三本木といえば
ひまわり!

三本木

MAP P27

■湯立神事 (ゆだてしんじ)

荒業で有名な三本木の奇祭

源頼朝が奥州平泉の藤原氏を平定して凱旋する途中に建立したと伝えられる若宮八幡神社。そこで毎年旧暦9月18日の秋の宵祭に行われるのが「湯立神事」。氏子の安泰を祈願し奉納する神事は、祈祷祝詞を唱えながら熱湯を笹の葉で自分の体にかけ除災する荒業で有名。



■開催日／10月22日(火) ■時間／18:00～
■会場／大崎市三本木新沼字若宮113(若宮八幡神社)
■問合せ先／0229-52-3440(若宮八幡神社)

「幻の人車軌道」と呼ばれる 松山地域の近代化産業遺産

松山

大正11年(1922年)、松山町駅と駅から離れた町の中心部を結ぶために登場したのが「人車」。人力でレール上の車体を走らせ、多くの町民の足となっていたが、昭和4年(1929年)バスの導入により、約6年間という短い歴史の幕が閉じた。4両あった車両のうち2両は解体されたが、1両はさいたま市の『鉄道博物館』、復元された1両は「松山ふるさと歴史館」に展示されている。また複製された人車は『松山酒ミュージアム』前でも見ることができる。

2009年には、松山人車軌道の復元・複製された両車両が近代化産業遺産として認定された。



魅力も!

各地域にはこんな

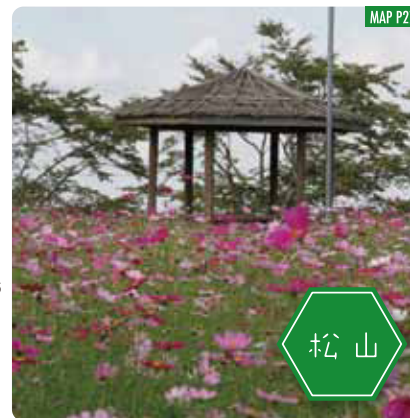
松山、鹿島台、三本木地域には、ほかにも見どころや歴史がいっぱい。ここでは地域ごとにその魅力を紹介。

秋にはコスモス祭りも開催!

御本丸公園 (コスモス園)

中世松山の中心的な城である千石城跡、御本丸公園。大崎平野が一望できる高台にあり、コスモスが楽しめる公園として多くの人に親しまれている。

■住所／大崎市松山千石字本丸6
■問合せ先／0229-55-2112
(大崎市松山総合支所 地域振興課)



MAP P27

松山

コスモス祭りでは複製された人車に乗れる!



人車に乗って園内の景色を眺めれば、タイムスリップしたような気分になりますよ。

一ノ蔵 社長
松本 善文さん



松山は、
フランク永井の
ふるさとです。

「有楽町で逢いましょう」や日本レコード大賞に輝いた「君恋し」などのヒットで知られる歌手・フランク永井は、実は松山出身。地元へ帰ってくると必ず実家に寄り、かつてお世話になった近所の家にも顔を出す、ふるさと愛にあふれた人物であった。幼い頃はみんなをまとめる大将だった永井の大成功に、当時の町の人々は大盛り上がり。今もその輝かしい栄光の数々は「ふるさと歴史館」に大切に保存・展示されている。

フランク永井歌コンテスト
毎年開催

■問合せ先／090-1492-0438
(フランク永井歌コンテスト事務局)
※日曜・祝日を除く13:00～17:00

平成26年は
10月に開催